人文書・歴史書 ご担当様　**2026 年 11 月下旬 配本予定　新刊のご案内**

先端でオリジナルな歴史研究の成果

「山川歴史モノグラフ」シリーズ　2026年の新刊

歴史学の発展に寄与することを目的とした、公募による本格的な学術書シリーズ。
新進・若手研究者を対象に研究成果を募り、厳正な審査の上で刊行します。

新刊受注〆切 11／11（水）

番線印

[ご担当者名：　　]

※新刊配本に間に合いますよう、お早めのご注文をお願いいたします。

山川歴史モノグラフ 51

古代エジプトの正義の女神 「二柱のマアト」をめぐって

肥後時尚＝著（筑波大学芸術系助教）

ご注文数　　冊

古代エジプトのマアト女神 (mꜣʿt) は、宇宙の秩序や正義、真実の意味を包含する抽象概念マアト (mꜣʿt) の神格化である。
この女神は、古代エジプトの 3000 年の歴史を通して、正義や秩序を司る重要な女神として認識され、頭にダチョウの羽根を載せた一柱の女性の姿で様々な史資料に描写された。その一方で、エジプト新王国時代になると、マアト女神は「二柱のマアト」(mꜣʿty) と呼ばれる二柱の女神として図像に描かれ、「死者の審判」の場面において重要な役割を担った。
本来一柱である女神が二柱の女神の姿に変化する事例はエジプトの宗教においても極めて稀であるが、「二柱のマアト」の理解は依然として曖昧であり、十分に理解が進んでいない。
本書では、古代エジプト史の前半期の史資料から「二柱のマアト」の由来となる語を抽出・分析することで、明確な女神としての姿をもつ以前の「二柱のマアト」の実体と神格化に至るまでの変遷を明らかにする。

A5 判 上製　予 248 頁　ISBN:978-4-634-67268-0 C3022　予価 6,600 円（本体 6,000 円＋税）

山川歴史モノグラフ 52

古代アテナイの殺人訴訟

内川勇海＝著（早稲田大学非常勤講師）

ご注文数　　冊

本書は、古代アテナイにおける殺人訴訟制度と「殺人」概念の実態を、法手続・言語表現・社会的背景から総合的に解明する。
第Ⅰ部では、従来の私的／公的訴訟の分類に収まらない dike phonou の特質を提示し、それが複数の手続群（dikai phonou）として運用されていた実態や、手続の選択可能性を解明する。さらに言語表現の分析から、動物・無生物による致死や処刑までをも含む、アテナイ独自の「殺人行為」認識を浮き彫りにする。
第Ⅱ部では、民主政防衛のための「反民主派殺害」の特殊性や、言語的区別の希薄さに起因する「処刑と殺人」の境界線、処刑実務の工夫を検証する。また被害者親族の役割変化を通じ、古典期における「ドラコンの殺人法」の空文化と柔軟な法運用の実態を指摘する。
これらの多角的な考察を通じて、アテナイの殺人訴訟制度を法体系全体のなかで再定位するとともに、制度運用と法価値観の変容から古代アテナイにおける国家のあり方を明らかにする。

A5 判 上製　予 312 頁　ISBN:978-4-634-67269-7 C3022　予価 6,600 円（本体 6,000 円＋税）

山川出版社　TEL:03-3293-8131
※ご注文は、右記まで FAX をお願い致します。　FAX:03-3292-6469